

# 高知市立中央公民館事業 高知市民の大学 第89期生 募集要項

## 趣旨

21世紀に入り、世界も日本も大きな曲がり角に来ているように思われます。拡大から縮小へ、競争から共存へ、社会も私たちの生活も大きく変わりつつあり、新しい価値観も生まれてきています。しかし一方では、これらの変化には惑わされずに、数千年の人類の歴史を貫く価値観も厳然として存在しています。私たちは社会の変化を知り、これに対応する必要に迫られる一方で、時間と空間を超えた不変の真理にも心を惹かれます。

創設以来45年、県下における生涯学習のパイオニアである「高知市民の大学」は、「食品」や「経済」といった生活に密着した問題と、「宇宙」や「心」のようないわば「不易」な問題をバランスよく取りあげて、毎回多くの市民の皆様にご受講いただいております。大学外や県外からも魅力ある講師をお招きするのも本大学の特徴です。

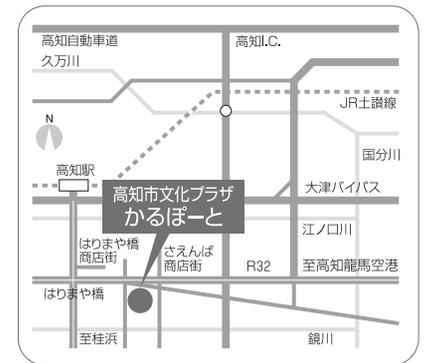
夕べのひと時、共に学び、共に考えませんか？ 知の刺激は心地よいものです。

## 要項

- 1 在学期間 2021年4月2日～2021年7月20日
- 2 場所 高知市文化プラザかるぽーと11階 高知市立中央公民館 大講義室
- 3 曜日と時間 火曜日 総合コース 18時30分～20時  
金曜日 総合コース 18時30分～20時
- 4 募集人員 各コース50名(先着順)
- 5 受講料 1コース 2,800円(テキスト代500円を含む)  
両コース一括 4,800円(テキスト代1,000円を含む)  
※定員に余裕がある場合は1日だけの受講も可能 各回500円  
ただし、当日のお申し込みは座席の空席状況によってはお断りする場合がありますので、事前にお電話でご確認ください。(感染症予防対策として定員を縮小しています)
- 6 講座 講義
- 7 申し込み 2021年3月2日(火)から高知市文化プラザかるぽーと8階文化振興事業団で受け付け(月曜休館・ただし月曜が祝日または振替休日に当たる場合は開館)。  
高知市九反田2-1 TEL 883-5071 FAX 883-5069
- 8 その他 講義の課程は下記のとおりですが、講師の都合、天候等のやむを得ない事情で予定を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
最終日は講義終了後に閉講式を行い、10日以上出席した受講生には修了証書を授与します。  
会場には有料駐車場があります(30分ごとに150円)。

■主催  
高知市民の大学運営委員会  
(委員長 高知大学名誉教授 岩田 裕)  
高知市  
公益財団法人高知市文化振興事業団

■後援  
高知新聞社／RKC高知放送



講座の詳細はこちらから

### ◆火曜日：総合コース

「遺跡が語る高知市の歩み—『高知市史 考古編』刊行によせて—」

月日	講義テーマ(内容)	講師
4月6日	高知考古学のあゆみ：人と遺跡	【聞き手】 高知大学人文社会科学部准教授 宮里 修 【語り手】 前高知県立埋蔵文化財センター所長 森田 尚宏 平和資料館 草の家副館長 出原 恵三 高知県立埋蔵文化財センター所長 松田 直則
4月13日	高知の自然環境と歴史：概要と旧石器時代	前高知県立埋蔵文化財センター所長 森田 尚宏
4月20日	温暖化と狩猟採集生活：縄文時代草創期～中期	高知県立春野高等学校教諭 畠中 宏一
4月27日	冷涼化と祈り：縄文時代後・晩期	高知大学人文社会科学部准教授 宮里 修
5月11日	農耕生活のはじまり：弥生時代前・中期	高知大学人文社会科学部准教授 宮里 修
5月18日	革新の鉄器：弥生時代中期後葉～古墳前期	高知大学人文社会科学部准教授 宮里 修
5月25日	水辺の祭りと群集墳：古墳時代中・後期	高知大学人文社会科学部准教授 宮里 修
6月1日	仏教と神道の時代：古代・中世・近世	高知県立歴史民俗資料館副館長 岡本 桂典
6月8日	律令「国家」の出現と土佐の遺跡：飛鳥・奈良・平安時代	高知県立埋蔵文化財センター調査第三班長 池澤 俊幸
6月15日	流通のひろがり：鎌倉・室町時代	高知県立埋蔵文化財センター調査課長 吉成 承三
6月22日	山城の時代：戦国時代	高知県立埋蔵文化財センター所長 松田 直則
6月29日	石垣の城：近世	高知県立埋蔵文化財センター所長 松田 直則
7月6日	江戸時代のまちと暮らし	浜田 恵子
7月13日	高知市の戦争遺跡：近代	平和資料館 草の家副館長 出原 恵三
7月20日	最新の過去：最近の発掘調査事例	調 整 中

### ◆金曜日：総合コース

「オリンピックの過去・現在・未来を探る」

月日	講義テーマ(内容)	講師
4月2日	オリンピック入門 —知っているようで知らないオリンピック—	高知大学理事・副学長 辻田 宏
4月9日	オリンピックへの道 —おらんく選手の熱き闘い—	高知新聞社編集局運動部副部長 吉川 博之
4月16日	幻のオリンピック	モスクワオリンピック バレーボール競技日本代表 竹島 晶代
4月23日	近代オリンピックの誕生 —「オリンピック」は何故1500年の時を超え復興したか—	高知大学地域協働学部准教授 中村 哲也
4月30日	第二次世界大戦とオリンピック —「平和の祭典」オリンピックを考える—	高知大学地域協働学部准教授 中村 哲也
5月7日	アマチュアリズムの歴史とオリンピック —進むスポーツのプロ化と変わりゆく理想—	高知県立大学 地域教育研究センター教授 清原 泰治
5月14日	オリンピックとスポーツビジネス	高知学園短期大学看護学科教授 生島 淳
5月21日	スポーツマーケティングとオリンピック —オリンピックの「価値」は誰が決める?—	高知工科大学 経済・マネジメント学群講師 前田 和範
5月28日	オリンピック選手とスポーツ医学 —驚異の記録はいかにして生み出されるのか—	高知大学教育学部講師 幸 篤武
6月4日	トップアスリートのメンタルテクニック	高知大学教育学部教授 矢野 宏光
6月11日	メンタルサポートの必要性 —心の支援がアスリートの潜在能力を開花させる—	高知大学教育学部教授 矢野 宏光
6月18日	パラリンピックに学ぶ人間の可能性	高知県立障害者スポーツセンター チーフ 北村 大河
6月25日	オリンピックとドーピング —「公平さ」を守る闘いの歴史—	高知大学理事・副学長 辻田 宏
7月2日	東京2020オリンピック・ パラリンピック競技大会と高知	高知県文化生活スポーツ部 スポーツ振興監 葛目 憲昭
7月9日	総合討論 —オリンピックの過去・現在・未来を探る—	高知大学理事・副学長 辻田 宏 高知大学教育学部教授 矢野 宏光 高知大学地域協働学部准教授 中村 哲也

※必ず裏面をお読みください

# 高知市民の大学の受講を希望される皆さまへ

～高知市立中央公民館～

新型コロナウイルス感染症の発生源・感染経路になることを防ぎ、皆さまの安全と健康を守るための措置として、次のような感染予防策を実施します。

受講生全員が安心して受講できる環境づくりのため、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

## 【基本的な感染予防策】

### \* 次のような場合は受講をご遠慮ください

- ・発熱、息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある、そのほか体調がすぐれない等の場合
- ・新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合
- ・過去2週間以内に感染が拡大している国・地域への訪問歴やその国・地域の在住者と濃厚接触がある場合

### \* 次のことを徹底してください

- ・受講の際は必ずマスク(フェイスシールド・マウスシールドは不可)を着用し、手洗い、手指消毒を励行してください。マスクを着用いただけない場合は参加できません。

### \* 次のことにご協力ください

- ・受講生同士の間隔を確保するため座席や配置を指定・制限する場合があります。
- ・教室内での食事はご遠慮ください。
- ・講座の実施期間中(約4か月)は感染リスクが高いと考えられる場所への移動や行為に十分ご注意ください。
- ・受講中に発熱等の症状が感じられた場合は職員にお声がけいただき指示に従ってください。

### < 保健所等への情報提供について >

入学申込時に教えていただいた、お名前・連絡先等は、受講生や講師、担当した職員等の中から新型コロナウイルスの感染者または感染が疑われるケースが確認された場合、保健所等の公的機関に提出することがあります。

※ここに記載している新型コロナウイルス感染予防策の内容は募集要項作成時におけるもので、感染状況によって予告なく内容を変更する場合があります。ご了承ください。 令和3年2月